

## 第6章 フリューム類据付工

6-1	フリユーム類据付工	
(1)	鉄筋コンクリートフリユーム	6-1
(2)	鉄筋コンクリート柵渠	6-2
(3)	鉄筋コンクリート大型水路	6-3
(4)	コルゲートフリユーム	6-3
(5)	ボックスカルバート	6-4
(6)	鉄筋コンクリートL形水路	6-5
(7)	分水槽	6-6
(8)	鉄筋コンクリートU形・ベンチフリユーム	6-7
(9)	蓋板	6-9
(10)	リフト台車によるコンクリート二次製品水路据付	6-10



## 第6章 フリューム類据付工

### 6-1 フリューム類据付工

フリューム類の据付に適用する。

#### (1) 鉄筋コンクリートフリューム

鉄筋コンクリートフリューム（JIS A 5372）を据え付ける場合に適用する。

##### 1) 数量算出項目

必要延長を区分ごとに算出する。

表6-1 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	製品規格	受台の有無	単位	数量	備考
鉄筋コンクリートフリューム	○	○	m		

##### ①製品規格区分

製品規格ごとに区分する。

##### ②受台の有無区分

受台の有無について区分する。

## (2) 鉄筋コンクリート柵渠

鉄筋コンクリート柵渠を据え付ける場合に適用する。

### 1) 数量算出項目

必要延長を区分ごとに算出する。

表6-2 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	製品規格	アーム間隔	形式	断面積	単位	数量	備考
鉄筋コンクリート柵渠		○	○	○	○	m		(注)

(注) 必要に応じ、基面整正、底版コンクリート、底版栗石を別途算出する。

#### ①製品規格区分

製品規格ごとに区分する。

#### ②アーム間隔区分

アーム間隔ごとに区分する。

#### ③形式区分

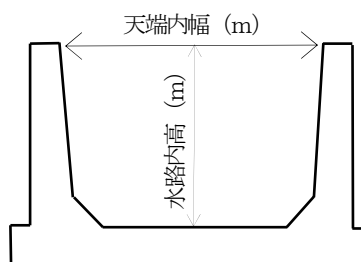
形式ごとに区分する。

#### ④断面積区分

断面積は次式により求め、下表で区分する。

$$\text{断面積 (m}^2\text{)} = \text{水路内高 (m)} \times \text{天端内幅 (m)}$$

断面積 (m <sup>2</sup> )
0.16m <sup>2</sup> 未満
0.16 m <sup>2</sup> 以上 2.50 m <sup>2</sup> 以下
2.50 m <sup>2</sup> を超え 3.60 m <sup>2</sup> 以下



### (3) 鉄筋コンクリート大型水路

鉄筋コンクリート大型水路を据え付ける場合に適用する。

#### 1) 数量算出項目

必要延長を区分ごとに算出する。

表6-3 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	材料規格			接合材	単位	数量	備考
		製品規格	製品長	製品質量				
鉄筋コンクリート大型水路		○	○	○	○	m		

(注) 必要に応じ、基礎砕石、基礎コンクリート等を別途算出する。

#### ①材料規格区分

布設対象ごとに、上表に該当する項目について区分する。

##### a. 製品長及び製品質量区分

製品長及び製品質量は、下表で区分する。

製品長(mm/個)	製品質量(kg/個)
1000	1450kg 超え 1500 kg以下
	1500 kg超え 2000 kg以下
	2000 kg超え 2500 kg以下
	2500 kg超え 3500 kg以下
	3500 kg超え 5500 kg以下
	5500 kg超え 7000 kg以下
2000	2900 kg超え 3500 kg以下
	3500kg 超え 5500kg 以下
	5500kg 超え 7000kg 以下

#### ②接合材区分

接合材ごとに区分する。

### (4) コルゲートフリューム

コルゲートフリュームを据え付ける場合に適用する。

#### 1) 数量算出項目

必要延長を区分ごとに算出する。

表6-4 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	規格	接合	単位	数量	備考

#### ①規格区分

規格ごとに区分する。

#### ②接合区分

接合の有無により区分する。

## (5) ボックスカルバート

プレキャストのボックスカルバートで、1ブロックを1部材で構成する製品（内空断面が台形タイプの物を含む）を据え付ける場合に適用する。

### 1) 数量算出項目

必要延長を区分ごとに算出する。

表6-5 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	製品種別	製品長	内空幅・高	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	単位	数量	備考
ボックスカルバート		○	○	○	○	○	m		

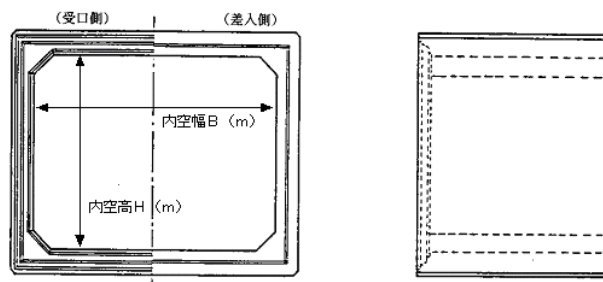
#### ①製品種別区分

製品種別は下表で区分する。

製品種別
一般製品
PC 鋼縦締用製品

#### ②製品長及び内空幅・高区分

内空幅・高は右図により求め、製品長を含め、下表で区分する。



1個当り長さ(m/個)	内空幅B(m)	内空高H(m)
1.0	$1.25 < B \leq 2.5$	$1.25 < H \leq 2.5$
	$2.5 < B \leq 3.75$	$1.25 \leq H \leq 2.5$
1.5	$1.25 < B \leq 2.5$	$0 < H \leq 1.25$
		$1.25 < H \leq 2.5$
	$2.5 < B \leq 3.75$	$1.25 \leq H \leq 2.5$
2.0	$0 < B \leq 1.25$	$0 < H \leq 1.25$
		$1.25 < H \leq 2.5$
	$1.25 < B \leq 2.5$	$0 < H \leq 1.25$
		$1.25 < H \leq 2.5$

#### ③基礎碎石の有無区分

基礎碎石の有無について区分する。

#### ④均しコンクリートの有無区分

均しコンクリートの有無について区分する。

## (6) 鉄筋コンクリートL形水路

### 水路用鉄筋コンクリートL形ブロックを据え付ける場合に適用する

#### 1) 水路用鉄筋コンクリートL形ブロック数量算出項目

必要個数を区分ごとに算出する。

表6-6 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	製品規格	製品質量	接合	単位	数量	備考
鉄筋コンクリートL形水路		○	○	○	個		(注)

(注) 必要に応じ、基礎砕石、基礎コンクリート等を別途算出する。

##### ①製品規格区分

製品規格ごとに区分する。

##### ②製品質量区分

製品質量は、下表で区分する。

製品質量 (kg/個)
80 kg超え 450 kg以下
450 kg超え 800 kg以下
800 kg超え 1100 kg以下
1100 kg超え 1500 kg以下
1500 kg超え 1900 kg以下
1900 kg超え 2200 kg以下
2200 kg超え 2600 kg以下
2600 kg超え 3000 kg以下
3000 kg超え 3400 kg以下
3400 kg超え 3800kg 以下
3800 kg超え 4000kg 以下

##### ③接合区分

接合材料ごとに区分する。

#### 2) 底版鉄筋溶接数量算出項目

必要箇所を区分ごとに算出する。

表6-7 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	鉄筋配列	鉄筋規格	単位	数量	備考
底版鉄筋溶接		○	○	箇所		

##### ①鉄筋配列

鉄筋配列と鉄筋規格は、下表で区分する。

鉄筋配列	鉄筋規格
1列	D13
	D16
2列	D13
	D13 と D16
	D16

## (7) 分水槽

コンクリート分水槽(1ブロックを1部材で構成する製品)を据え付ける場合に適用する。

### 1) 数量算出項目

必要基数を区分ごとに算出する。

表6-8 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	製品規格	製品質量	基礎碎石の有無	敷材の有無	単位	数量	備考
分水槽	○	○	○	○	基		

#### ①製品規格

製品規格ごとに区分する

#### ②製品質量

製品質量は、下表で区分する。

製品質量 (kg/基)
50 kg以上 80 kg以下
80 kgを超え 400 kg以下
400 kgを超え 800 kg以下
800 kgを超え 1200 kg以下
1200 kgを超え 1600 kg以下
1600 kgを超え 2200 kg以下

#### ③基礎碎石の有無区分

基礎碎石の有無について区分する。

#### ④敷材の有無区分

敷材の有無について区分する。

## (8) 鉄筋コンクリートU形・ベンチフリューム

鉄筋コンクリートU形及びベンチフリュームを据付又は再利用目的で撤去する場合に適用する。

### 1) 数量算出項目

必要延長を区分ごとに算出する。

表6-9 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	材料規格		基礎碎石の有無	敷材の有無	接合	施工箇所	施工	単位	数量	備考
		製品規格	製品質量								
U形1		○	×	○	○	○	○	○	m		(注) 1
U形2		○	○	○	○	○	○	○	m		(注) 2
ベンチフリューム1		○	×	○	○	○	○	○	m		(注) 3
ベンチフリューム2		○	○	○	○	○	○	○	m		(注) 4

- (注) 1. 製品長は600mm、基礎碎石の断面積は別途算出する。  
 2. 製品長は1000、2000、4000、5000mm。製品質量は2m当りに換算し算出する。基礎碎石の断面積は別途算出する。  
 3. 製品長は1000、2000mm。基礎碎石の断面積は別途算出する。  
 4. 製品長は4000、5000mm。製品質量は2m当りに換算し算出する。基礎碎石の断面積は別途算出する。

#### ①材料規格区分

布設対象ごとに、上表に該当する項目について区分する。

##### a. 製品質量

製品質量は、下表で区分する。

項目	製品質量 (kg/2m)
U形2 ベンチフリューム2	1000 kg以下
	1000 kgを超え 2000 kg以下
	2000 kgを超え 2900 kg以下

#### ②基礎碎石の有無区分

基礎碎石の有無について区分する。

#### ③敷材の有無区分

敷材の有無について区分する。

#### ④接合区分

接合材料ごとに区分する。

#### ⑤施工箇所区分

施工箇所は、下表で区分する。

施工箇所
一般
法面小段面
法面縦排水

⑥施工区分

施工は、下表で区分する。

施 工 区 分
据付
撤去

## (9) 蓋板

蓋板を設置又は再利用目的で撤去する場合に適用する。

### 1) 数量算出項目

必要枚数を区分ごとに算出する。

表6-10 数量算出項目区分一覧表

項目 \ 区分	製品規格	製品種別	製品質量	施工	単位	数量	備考
蓋板	○	○	○	○	枚		

#### ①製品規格区分

製品規格ごとに区分する。

#### ②製品種別

製品種別は、下表で区分する。

製品種別
鋼製蓋
コンクリート蓋

#### ③製品質量

製品質量は、下表で区分する。

製品質量 (kg/枚)
40 kg以下
40 kgを超え 170 kg以下

#### ④施工区分

施工は、下表で区分する。

施工区分
据付
撤去

(10) リフト台車によるコンクリート二次製品水路据付

リフト台車、ボックスカルバート、大型フリーム、L形水路を据え付ける場合に適用する。

1) 数量算出項目

必要延長を区分ごとに算出する。

表6-11 数量算出項目区分一覧表

項目	区分	製品種別	製品長	内空幅・高、 底版厚	製品質量	平均搬送 距離	単位	数量	備考
ボックスカルバート		○	○	○	○	○	個		
大型フリーム		×	○	○	○	○	個		
L形水路		×	○	○	○	○	個		

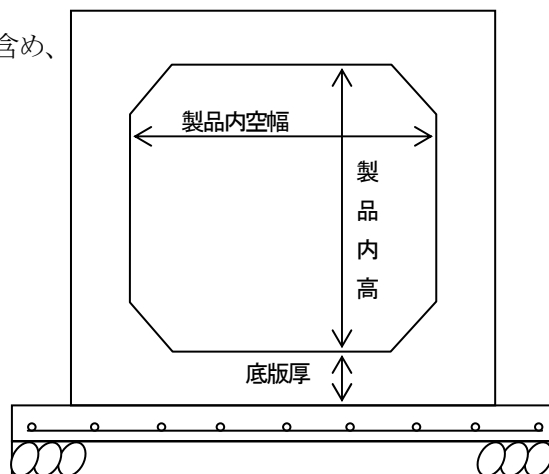
①製品種別区分

製品種別は下表で区分する。

製品種別
一般製品
PC鋼縦締用製品

①製品長、内空幅・高区分、底版厚

内空幅・高、底版厚は、右図により求め、製品長を含め、製品種類毎に下表で区分する。



ボックスカルバート、大型フリームの区分

製品内高	製品内空幅	底版厚
800mm以上	800mm以上 1,500mm以下	240mm 未満
1,000mm以上	1,500mm超え 2,300mm以下	300mm 未満
900mm以上	2,300mm超え 3,000mm以下	300mm 未満
1,500mm以上	3,000mmを超える	500mm 未満

(注) 製品内高は、頂版による高さ制限のあるボックスカルバート等に適用する。

L形水路の区分

製品内高
2,500mm以下
5,000mm以下

③製品質量

製品質量は、製品種類毎に下表で区分する。

ボックスカルバート、大型フリームの区分

製品質量
6t 以下
10t 以下
15t 以下

L形水路の区分

製品質量
2.5t 以下
9t 以下

④平均搬送距離

製品質量は、下図により求め、下表で区分する。

平均搬送距離
50m以下
50mを超え 80m以下
80mを超え120m以下
120mを超え160m以下
160mを超え200m以下
200mを超え230m以下
230mを超え250m以下

平均搬送距離算定参考図

